昨日第二會場内へ

過激のビラ

觀覽者の雜沓に乘じて撒布

過激鮮人の擧か

昨日午前十時半和博第二會場の雜沓に乘じ外國館の附近で突如「萬歲呼革命」云々と記した過激な文字の宣傳ビラを折柄の日曜日の觀覽者の混雜に乘じて撒布した怪しい男があつた、折柄鹿鳴館宮殿下の御台臨當日の警戒其他の準備の爲めに上野署及び付の警察の警官三十名が場内を巡檢中であつた爲めに犯人を嚴探したが遂に得る處が無かつた然るに一昨夜池の端にて鮮人の學生らしい青年が朝鮮館は文化に遅れた建物と施設であるから一般に觀覽せしむる事は朝鮮の恥辱であると憤慨して是を中止せしむる方法に出づべきの相談を爲しあるとの事を耳にした者があるので前記宣傳ビラ犯人も此連中ではないかと嚴重捜索中だ

不穩文書學生

不敬罪追加

不穩事件に就き去十日出版法違反として若松町分監に收容された大阪高商學生森[illegible]（二十）及共犯中島一史（[illegible]）は收引續き某谷檢事の取調を受けつゝ居るが最近出版物の外に不敬罪として訴される事となつたと（大阪）

勞農政府大規模に日本を赤化せんとす

支那人を使嗾して露鮮人續々入込む

五千萬弗を貸與し日貨排斥運動を爲す

神戸電話 露國勞農政府は露政府の[illegible]を無電に佛國より一儀法西伯利を經て米國より西伯利を經て米國より露鮮人を使嗾して日本を赤化すべく北京に在るベーケス氏は支那に於て盛に日貨排斥運動を爲し西伯利に於ても

獨逸品の輸入を助け

日本殿が排斥するに努めてゐる露國人及鮮人は勞農政府の命を受け

潛入して居る其の最後の目的は日本の當選論者を煽動

して更に目下の政局を紛亂せしめ出合に依りては米の買占めを行ふべく神戸の某商會

密々に企つる處あり

一方奮行委員は數日前東京に入込み大連北京と連絡を取つて大活動

多數に上ると傳へられてゐる（和歌山電話）

謎の女◇◇平岡喜知子

和歌山縣知事郡長の紹介で集めた金を赤化運動に貢ぐ

東京市外世田谷村駒場前學習院教諭米亡人といふ平岡喜知子（二）は昨年十月和歌山縣に入込朝鮮、支那[illegible]学生の歓め同學會なるものを組織し寄宿舍を建設すること云ふ振れ出しで小原和歌山縣知事、遠藤和歌山市長の紹介を得和歌山市の富豪[illegible]太郎、島[illegible]次郎、松居清助氏等より[illegible]を受け郡は郡長[illegible]を訪し西牟婁郡田邊町では松本郡長の紹介狀を突きつけて榎阪郡視學同道で同町一流の富豪山本吉太郎、多屋秀太郎、原秀次郎氏等より二百圓或は百圓の寄附を受けたが今回司女は赤化運動に

怪しき關係ある事が暴露し警視廳に引致取調を受けた事實が判明し斯る疑問の女を輕率にも知合の上郡長が紹介したのは不都合極まる譯である殊に其金を赤化運動に寄附したことは由々敷問題であること非難されて居るが榎阪東牟婁郡視學は同女を同伴し勸說したことは教育上許し難き問題にして辭職を決意せりと傳へられてゐるが問題の女平岡喜知子の宅には常に支那浪人及び鮮人が出入し不便な一軒家に人目を避け頗る贅澤な生活をして居るのは不思議だと警視廳では引續き極力内偵してゐると傳へられてゐる（和歌山電話）

社會主義者の無錢飲食

短刀を振廻す

三十八日正午神田小川町六牛肉店常連方に七人連れの客が上がり午後六時まで飲食して二十一圓の勘定を後の男が拂ふからと一人を殘して立歸つたが容易に支拂ふ機子が無いので手强く請求すると件の男は短刀を振り廻し脅迫するので西神田署に突き出されたが此者は横濱市山下町五の三一相澤元と云ふ社會主義者で無銭飲食目的で飲食したものと判り同伴者捜査中

『赤い町』襲撃さる

夢野に集ふ社會主義者

大ビラに主義研究の大看板

男女六名の檢束

○相生町五丁目一七四番の七中尾吉之助（二八）住所不定鈴木四郎（二八）桶町一丁目田中福松（二二）下山手通八丁目一七八番の四清田健次（一六）琴緒町二丁目二七番の二水谷よし子（一八）の七名を取押へ本署に引致すると共に三月號の雜誌原稿及び葉書手紙其他の書類を

押收し警察本部高等課

より出張した香山警部補の手で一應の取調を行つた後行七名中廣岡はなのみ歸宅を許し殘り六名は何れも檢束された

過般來

市内小野米室

町一丁目六〇番の三上月岩太郎（二二）方に『社會主義研究』と墨太に記した看板を掲げ先月より雜誌『赤い町』を發刊し多數の同志が集まり社會主義めいた事を

口にする事を所轄淀川警察の高等課

が知り二十五日正午頃多數の警官同家を襲ひ折柄會談中だつた岩太郎並に同人内縁の妻廣岡はな（二